

福祉コミュニティプラン

（開成町地域福祉計画） できました！

町では、開成町社会福祉協議会と合同で「福祉コミュニティプラン」（開成町地域福祉計画／平成23～27年度）を策定しました。

この計画では、地域住民の皆さんや社会福祉協議会、町が、福祉のまちづくりへ向けて協働で取り組む共通の基本理念や基本目標を掲げるとともに、それぞれの推進主体が果たす役割についても明らかにしました。

ここでは、そのおおまかな内容を紹介します。

福祉課 ☎84-0316



【基本理念】

みんなで育もう！
誰もが安心して
イキイキと暮らせる
福祉のまち かいせい

【基本目標と施策の展開】

- 1 地域のみんなで
福祉への理解を深めるまち
（福祉への理解と意識の向上）
①福祉の学習環境を充実します。
②福祉の情報提供・啓発活動を推進します。
- 2 地域のみんなで支えあいたすけあつまち
（福祉コミュニティづくり）
①自治会福祉活動への支援を充実します。
②地域の福祉力を高めます。
- 3 地域を支える心と技をもった人材が育つまち
（福祉人材の育成）
①福祉活動の担い手を育成します。
②ボランティア活動を促進します。
- 4 地域のみんなが理解しあいつながりあつまち
（地域ネットワークの形成）
①サービスマッチング・活動間の連携を強化します。
②活動主体間の連携を強化します。
- 5 地域のみんなで災害に備えあつまち
（防災・要援護者対策）
①災害時要援護者登録制度を充実します。
②相談・支援体制を充実します（総合的な生活支援のしくみづくり）。
- 6 地域で福祉サービスを利用しながら安心して暮らせるまち
（福祉サービス）
①相談・支援体制を充実します（総合的な生活支援のしくみづくり）。



子育てワンポイント 86

◎子どもの「自分」が「自分」の「自分」も大変です。

A 「自分で靴をはく」と言
つて、どんなにやっても
うまくいかず、じれて泣き出
す。それならと手助けしよう
ものなら、手をつけられない
ほど怒って大泣きしてしまう
…このころの「自分で」につ
き合うのは本当に大変です。

しかし、子どもが「自分で」
と言い出したときは、そのや
る気を十分に受け止めてあげ
られる「親のゆとり」がとて
も大事になってきます。

「自分で」と言っ始めていたこ
とでも、できなくてあたりま
えと思っただけかもしれません。も
しも失敗したり、途中で挫折
したりしそうなようになったら
「もうちょっとだね」「一緒
にやってみようか」などと声
をかけると良いです。反対に、
よくできたら「すごいね」「が
んばったね」とほめて認めて



開成幼稚園

問のびの子育てルーム

☎82-4247
☎83-4198



音 楽委員会の児童は、朝
の時間に低学年の歌の
指導を行っています。今月の
歌「さんば」を低学年の児童
が早く覚えて、大きな声で歌

五 年生になると、委員会
活動が始まります。九
つの委員会に分かれ、六年生
と協力しながら自分たちの
学校生活をよりよくするため
に活動します。

放 送委員会の児童は、初
めての掃除の放送をす
るのに、前日からどきどきし
ながら練習していました。本
番では、堂々と大きなはつき
りした声で放送することがで
きました。「上手にできていた
よ」と声をかけると、ほっと
したような笑顔が返ってきま
した。

今 120
サポート
子どもたちは
「自分から」
生き生き

開成南小学校教諭 渡邊理恵

企 画委員会では、「一年生
を迎える会」を企画し、
全校児童で一年生を温かく迎
えることができました。この
日のために、企画委員会も
ちろんですが、五年生も一
年生のために何ができるか考
えました。

五 年生は、一年生が入場
するときのアーチを作
ること、手作りのメダルを
プレゼントすることにしまし
た。メダルの表面には一年生
が喜びそうなキャラクターの
絵を書き、丁寧に色を塗り、
裏面には心をこめてメッセー
ジを書きました。「なかよく
なろうね」「いっしょにあそ

うね」がっこうはたのしい
よ」「わからないことがあつた
らおしえてあげるよ」など平
仮名の温かい言葉があふれて
いました。「一年生を迎える
会」当日には、自分の作った
メダルを大事に持って、一年
生一人一人の首にそれぞれが
かけてあげました。もらった
一年生も、両手でメダルを大
事そうに持って、メッセージ
を一生懸命読んでいました。
ある五年生は、自分が一年生
の時にももらったプレゼントを
今でも大切に持っているそう
です。「一年生も、私たちのプ
レゼントを大切にしてくれる
といいな」とつぶやいた言葉
が印象的でした。

今 年の五年生の目標は
「自分で考え、自分から
動こう」です。自分たちの力
で判断し、積極的に行動して
ほしいと願っています。そし
て、この一年間でたくさん
リーダーとしての資質を育て
ていきたいと思っています。
委員会活動や一つ一つの行事
への取り組みの積み重ねが、自
分から動ける五年生をつくら
ていきます。